

具体的取組 1-1-2

【都市魅力関連施策等による地域・経済活性化】★

		26決算額	250百万 円	27予算額	250百万 円	28予算額	320百万 円
計画	取組内容	○「大阪観光局」による観光振興事業の推進（観光のプロ組織による観光振興事業の展開、大阪版DMO） ・「大阪の観光戦略」を強力に推進する観光振興組織として、マーケティングやプロモーション、MICE誘致などの事業を戦略的に実施し、大阪への来訪者・宿泊者数の増加により経済効果を向上させる。 ・大阪の観光まちづくりを戦略的に推進するために、都市型の「大阪版DMO」事業を展開し、大阪の集客力・競争力の強化と都市型の観光地経営の推進を図る。					
	業績目標（中間アウトカム）	・府・市・経済界によるトップ会議の開催 ・「大阪版DMO」事業の推進 【撤退基準】 ・大阪観光局による事業評価や府・市・経済界によるトップ会議における協議結果に基づき、事業内容や手法を再構築する。					
	前年度までの実績	（25年度） ・25年4月より大阪観光局を設立し、活動を開始（実施主体は（公財）大阪観光コンベンション協会） ・府・市・経済界で大阪観光局事業の実施状況や課題などについて協議・調整を行う「大阪観光局運営推進協議会」や、事業目標や事業計画、目標達成状況の評価を行う「大阪観光局評価委員会」を設置 （26年度） ・大阪観光局運営推進協議会（1回開催）や大阪観光局評価委員会（4回開催）における協議・評価等を踏まえつつ観光振興事業を推進 （27年度） ・大阪観光局事業の責任と権限を明確化するため、財団名称を大阪観光局に変更し、法人の理事長と大阪観光局長の職の一元化を図るほか、財団自らが行った事業評価を府・市・経済界によるトップ会議に報告・意見交換を行う事業評価の仕組みに再構築した。					
	中間振り返り	業績目標の達成状況 ①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					

具体的取組 1-1-2

【都市魅力関連施策等による地域・経済活性化】★

		26決算額	一 円	27予算額	一 円	28予算額	2百万 円
計画	取組内容	○戦略的なMICE誘致 ・MICEの開催を通じた観光消費の拡大を図るとともに、大阪に集積する産業分野を活かしたビジネスやイノベーションの機会を創出するため、関係者の意見も踏まえ、具体的な誘致を進めるための基本的な方針を取りまとめ、大阪府、経済界、大阪観光局と連携して戦略的にMICE誘致を推進する。					
	業績目標（中間アウトカム）	・MICE誘致について、基本的な方針を取りまとめるとともに、大阪府、経済界、大阪観光局と連携して戦略的に取り組む。 【撤退基準】 ・MICEの効果的な誘致につながらない場合、方針を再検討する。					
	前年度までの実績	（28年度新規事業）					
	中間振り返り	業績目標の達成状況 ①: 目標達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ②: 目標未達成(見込) (i) 取組は予定どおり進捗 (ii) 取組は予定どおり進捗していない ③: 撤退基準未達成 戦略に対する取組の有効性 ○: 有効 ×: 有効でないため取組を見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					
自己評価	取組実績	課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	業績目標の達成状況	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須					
	①: 目標達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ②: 目標未達成 (i) 取組は予定どおり実施 (ii) 取組を予定どおり実施しなかった ③: 撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性	○: 有効 ×: 有効でないため見直す ー: 中間アウトカム未設定(未測定)					

【様式2】

具体的取組 1-1-2

【都市魅力関連施策等による地域・経済活性化】★

		26決算額	円	27予算額	円	28予算額	円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	○新規展示会誘致助成事業（再掲）						
				前年度までの実績			
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)				

具体的取組 1-1-2

【都市魅力関連施策等による地域・経済活性化】★

		26決算額	1 円	27予算額	19百万 円	28予算額	33百万 円
計画	取組内容			業績目標（中間アウトカム）			
	○新たな観光拠点の形成に向けた夢洲まちづくり構想検討調査 ・関西の多くの観光エリアとネットワークの充実が図れ、関西観光のゲートウェイとなる新たな観光拠点にふさわしいポテンシャルを有する夢洲において、新たな機能を盛り込んだ夢洲全体のまちづくり方針や土地利用等関連調査を行うとともに、国による統合型リゾート(IR)関連法案の整備状況に合わせ、IR立地にかかるメリット・デメリットの検討、各種の情報収集、市民理解の促進など、府と連携しながら各種取組を進める。			・「夢洲まちづくり構想(案)～中間とりまとめ～」をさらに発展させ、夢洲まちづくり構想(素案)をとりまとめる。 【撤退基準】 ・経済・社会環境の変化等により構想策定に相当期間を要する見込みとなった場合は撤退する。 前年度までの実績 (25～27年度) ・海外のIR事業者の立地に関するニーズを把握するため、大阪府と連携しながら、複数のIR関係者等からの情報収集を実施するとともに、各種の調査活動を実施。 ・25年12月には、大阪でのIR立地準備に取り組むため、大阪府・市による「IR立地準備会議」を設置し、夢洲を軸としたベイエリアでの検討を進めてきた。 ・27年2月には大阪府・経済界とともに、観光拠点の形成など新たな機能を盛り込んだ夢洲全体のまちづくり方針や土地利用等に関する「夢洲まちづくり構想(案)～中間とりまとめ～」を公表。			
中間振り返り	業績目標の達成状況		課題と改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須				
	①:目標達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ②:目標未達成(見込) (i)取組は予定どおり進捗 (ii)取組は予定どおり進捗していない ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため取組を見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)				
自己評価	取組実績			課題 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	業績目標の達成状況			改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須			
	①:目標達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ②:目標未達成 (i)取組は予定どおり実施 (ii)取組を予定どおり実施しなかった ③:撤退基準未達成						
	戦略に対する取組の有効性		○:有効 ×:有効でないため見直す ―:中間アウトカム未設定(未測定)				